

中名地域コミュニティプラン

第3期（令和6年度～令和10年度）

【地域振興計画】



喜入地域体育大会総合優勝 令和5年10月22日（日）

中名地域コミュニティ協議会

所在地 〒891-0202 鹿児島市喜入中名町 1122
TEL/FAX 099-345-2153
E-mail naka-kouminkan@lily.ocn.ne.jp

目 次

1	プラン策定について	1
2	スローガンと基本方針	1
3	中名地域の概要	
	(1) 地域の概要	2
	(2) 特色ある施設・歴史・文化等	3
	(3) ふるさと中名のむかし今	8
4	中名地域の現状	
	(1) まちづくり部会	1 1
	(2) 安心安全部会	1 1
	(3) 福祉部会	1 1
	(4) 青少年育成部会	1 2
	(5) 社会教育部会	1 2
	(6) 社会体育部会	1 2
5	コミュニティ協議会の組織体系図	1 3
6	コミュニティ協議会の活動体系図	1 4
7	事業計画	
	6 専門部会	1 5
8	資料	
	(1) コミュニティプラン策定の経過	1 9
	(2) コミュニティプラン策定委員会委員名	2 0

1 プラン策定について

中名校区は、合併後20年を迎える節目の年に、これまでの1期・2期プランの反省を踏まえながら第3期コミュニティプラン（令和6年～10年）を策定することにいたしました。

世界中にまん延した新型コロナウイルス感染症が令和2年3月から令和5年5月までに日本列島を大きく騒がせ、中名校区も2期プランにおいて、3年間は事業を中止並びに縮小するなど大きな影響を受けたところであります。

今後においても新型コロナ対策には、気を緩めることなく十分な注意を払いながら、「誰もが住み慣れた校区で安心して暮らせるまちづくり」に努め、今後さらに加速が予想される急激な少子高齢化に対応するなど、地域の福祉や安心安全面を考慮した自助共助による地域力が高められるよう第3期コミュニティプランを策定するものであります。

2 スローガンと基本方針

『みんなで創る 潤いと活力に満ちた結のまち
未来輝くふるさと中名』

基本方針

- (1) 地域住民のふれあいと共生・協働による活力あるまちづくり
- (2) 地域住民みんなが、安心安全に暮らせるまちづくり
- (3) やさしさや思いやりがあり、共に支え合う心豊かなまちづくり
- (4) 中名の子どもは、中名で守り育てるまちづくり
- (5) 集う楽しさや学ぶ喜びを実感し、人と地域が輝き続けるまちづくり
- (6) 大人も子どもも気軽に参加できる、ふれあいと元気あふれるまちづくり

3 中名地域の概要

(1) 中名地域の概要

中名地域は、喜入中心部の北隣に位置し、昔から農業を生業とした純農村地域で、部分的には専業農家として園芸等に、一方は兼業農家として農地保全の確保に励み、信仰心が厚く、人情味豊かな地域として知られている。

昭和42年、世界最大級の石油備蓄基地が建設され、この産業の成長とともに当地域も発展してきたが、平成16年11月平成の大合併で人口・世帯数ともに微減傾向となり小学校児童数も、この5年で約10%減少し、逆に65歳以上の人口が8.4%上昇するなど少子高齢化に直面している。また、専業農家、兼業農家合わせて56戸、水田面積が12.2ha、畑地面積32.7ha、そして、漁業組合員数も3人に激減し、地域の活性化が課題となっている。

世帯数・人口等

面積 ……10.48km²
 世帯数 ……939世帯
 人口 ……1,903人
 高齢化率 ……39.4%
 ※住民基本台帳R5.4.1現在

農水産業

農家数 ……56戸
 水田面積 ……12.2ha
 畑地面積 ……32.7ha
 樹園地 ……5.0ha
 漁業組合員数……3人

児童数

※児童総数90名
 1年生 ……15名
 2年生 ……12名
 3年生 ……13名
 4年生 ……19名
 5年生 ……13名
 6年生 ……18名
 ※R5.4.6現在

企業

ENEOS 喜入基地(株)
 ENEOS マリンサービス(株)
 鹿児島船用品(株)
 株式会社共進組

集落会の状況

上集落会 ……199戸
 中集落会 ……220戸
 下集落会 ……255戸
 ※R5年集落会加入世帯

公共施設

中名校区公民館
 上集落会公民館
 中集落会公民館
 下集落会公民館
 中名小学校
 喜入海上保安署
 喜入老人憩いの家
 喜入老人給食
 サービスセンター
 中名簡易郵便局
 JR中名駅
 中名保育園

史跡・伝統文化等

棒踊り 塞神社
 樋高大谷展望所
 黒地藏 清水遺跡
 柵馬場 献穀田記念碑
 耕地整理記念碑
 献上米記念碑
 木場田橋(石橋)
 農道改修記念碑
 金鉱山坑道入口



(2) 特色ある施設・歴史・文化等



中名校区公民館(コミュニティ協議会事務局)



上集落会公民館



中集落会公民館



下集落会公民館



中名小学校



喜入海上保安署



喜入老人憩いの家



喜入老人給食サービスセンター



中名簡易郵便局



JR中名駅



中名保育園



ENEOS喜入基地(株)



塞神社



木場田橋(石橋)



樋高大谷展望所(美智子妃の歌碑)



清水遺跡



献穀田記念碑



農道改修記念碑



柵馬場



黒地蔵



献上米記念碑



耕地整理記念碑



金鉱山坑道入口



中集落棒おどり



灯ろうまつり



十五夜綱作り



校区防災訓練



校区歩こう会



校区公民館まつり



成人学級作品展示



鹿児島ユナイテッドFC交流
いも苗植え



鹿児島ユナイテッドFC交流
いも収穫

(3) ふるさと中名のむかし今

中名小学校南側から



昭和34年



令和 4年12月

中名小学校西側から



昭和46年



令和 4年12月

中名小学校北側から



昭和46年



令和 4年12月

4 中名地域の現状

(1) まちづくり部会



- 行事への参加意欲はあるが参加できない人が多い。
- 食料品など小売店がなく買い物が不便である。
- 地域の伝統芸能「棒踊り」の継承が難しくなっている。

- ◎休日等活用して事業を実施していく。
- ◎先進的な地域を視察し、まちづくりに生かしていく。
- ◎伝統芸能の継承をどのようにするか検討していく。

(2) 安心安全部会



- 自然災害の甚大化に比べ、住民の防災意識が低い。
- 国道通勤時間帯の渋滞回避に集落道が利用され危険。
- 通学路に防犯灯が整備されていない箇所が存在する。

- ◎防災マップの周知・活用と過去災害事例による啓発。
- ◎警察及び行政機関と連携した交通事故防止運動強化。
- ◎危険箇所点検による死角箇所排除と見守り活動の強化。

(3) 福祉部会



- 地域福祉に対する願いは、「高齢者へのサービス」「お互いに支えあう仕組み」「福祉に関する情報」「子育て支援」などである。
- 少子高齢化が急速に進んでいる中、一人暮らしの高齢者への声かけ並びに交流の場を設け、ふれあいを深めている。
- 近年の子育てサロンの参加は、待機児童の緩和で減少しているが、親子ふれあいでの読み聞かせ、その他行事の活動及び相談活動を行っている。

- ◎地域住民並びに高齢者が気軽に使えるふれあいサロンの充実。
- ◎一人暮らし高齢者や障がい者への声かけ、見守り活動の充実。
- ◎子育てサロンの充実

(4) 青少年育成部会



- 社会環境の変化により、住民間の交流が減少している。
- 地域の教育力の低下と校区 行事への不参加の傾向がみられる。
- 児童数の減少で子ども会活動が低下している。

- ◎人間関係づくりの出来る青少年団体等の育成が必要である。
- ◎地域住民による心身ともに健全な子どもの育成とその見守りが必要である。
- ◎地域住民と連携して、青少年育成に関する学びの場や積極的な活動への参加を望む。

(5) 社会教育部会



- 生きがいある心豊かな人生を築く一助としての、生涯学習等への参加者が増えてこない。
- まちづくり、介護講座、生きがいづくり講座、医療福祉等の学びの場の開設を行っている。
- 地域づくりの核となる人材育成に努めているが、成果が出ていない。
- 地域住民が学んだ成果を公民館まつり等で発表を行っている。

- ◎地域づくりは人づくり、生涯学び続けようとする地域住民への学習機会の提供と発表の機会を確保し、その充実を図る。
- ◎成人学級は、参加しやすい学級づくりを旨とし、受講者を増やして行く。
- ◎伝統芸能や伝統文化の保存継承に努める。

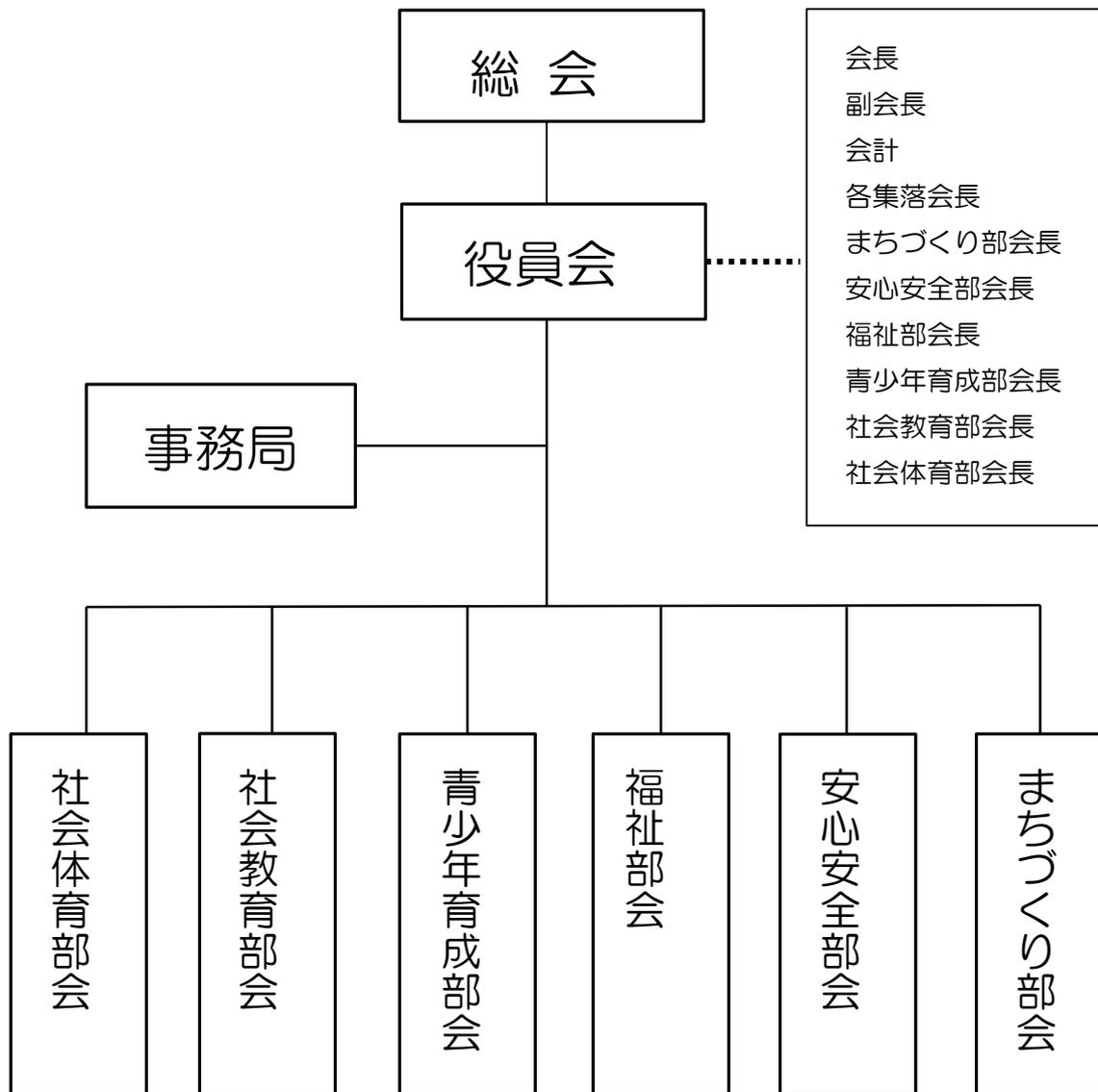
(6) 社会体育部会



- 健康志向の高まりで、自身の体力づくりに励む人がいる反面、全くスポーツ活動に参加したことのない人も多い
- スポーツ関連事業に参加している人は、限られた人が多く、参加意欲や意識が低下しつつある。

- ◎誰もが、気軽に参加できる軽スポーツを企画する。
- ◎スポーツを通じた健康・体力づくりに参加できるようにこまめな広報を行う。
- ◎夜間屋内スポーツの検討及び屋外ナイター設備の要望。

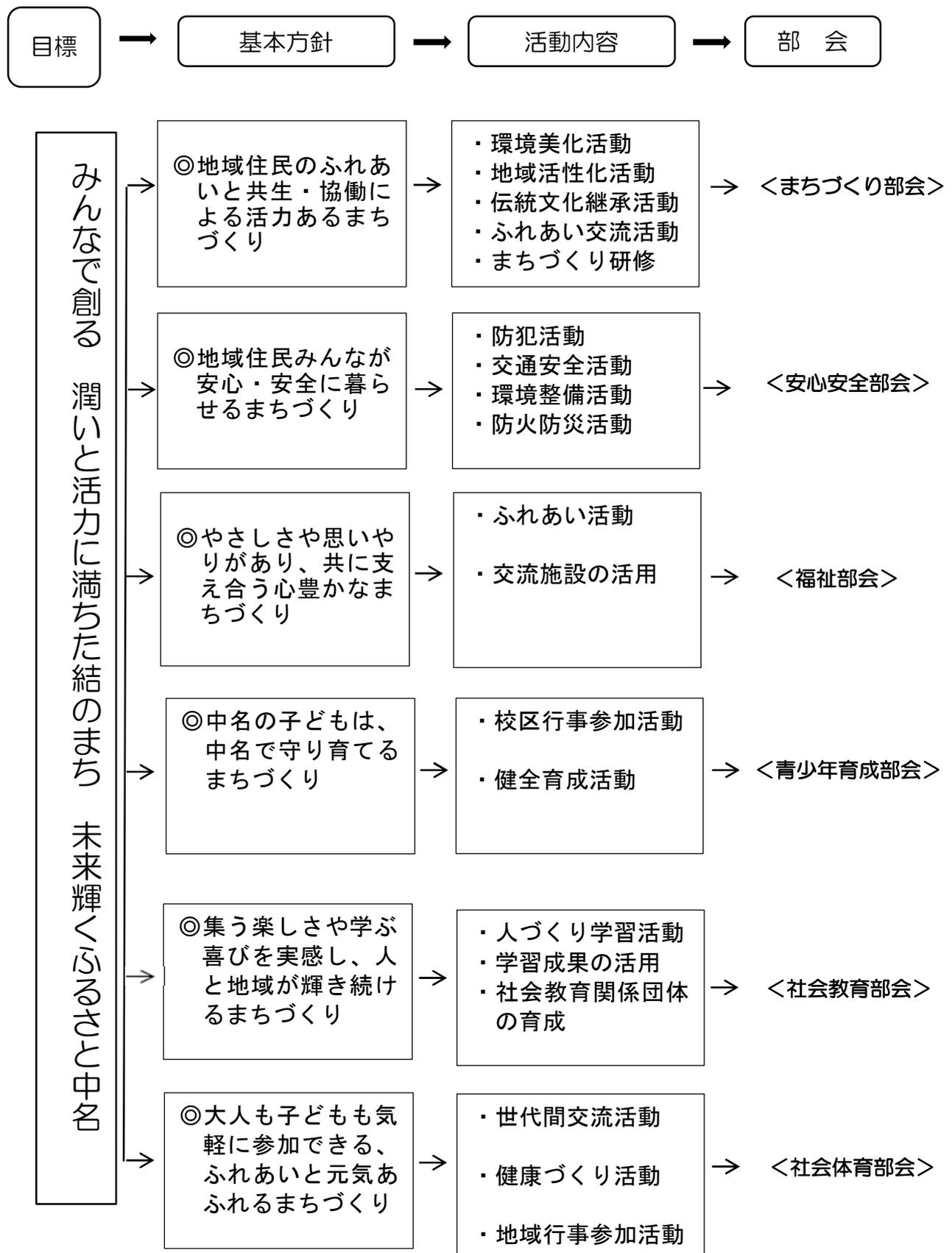
5 コミュニティ協議会の組織体系図



協議会の構成団体

- ・ 上集落
- ・ 中集落
- ・ 下集落
- ・ 婦人会
- ・ 民生委員
- ・ 中名小学校
- ・ 喜入中学校
- ・ 中名学級
- ・ 校区あいご会
- ・ 高齢者クラブ
- ・ お達者クラブ
- ・ 集落子ども会
- ・ 校区社会福祉協議会
- ・ スポーツ推進委員
- ・ スクールガード隊
- ・ 校区自主防災会
- ・ スポーツ少年団育成会
- ・ 交通安全協会喜入北支部
- ・ 生活研究グループ
- ・ 県漁協喜入支所
- ・ 中名簡易郵便局
- ・ ドリーム中名
- ・ 婦人防火協力会
- ・ 地域安全モニター
- ・ 小学校パトロール隊
- ・ 中学校パトロール隊
- ・ 子育てサロン
- ・ 福祉ネットワーク
- ・ 市商工会喜入支部
- ・ ENEOS喜入基地KK
- ・ ENEOSマリン KK
- ・ 母子寡婦福祉協議会
- ・ NPO法人福祉研究会
- ・ 校区体育部会
- ・ JA喜入支所
- ・ ほたる同好会
- ・ 農地保全会
- ・ 個人

6 コミュニティ協議会の活動体系図



7 事業計画

(1) まちづくり部会

番号	事業名	事業内容	事業効果	備考(連携等)
1	校区一斉清掃 (夏季・冬季)	地域内の美化活動。 (夏季・冬季)	地域内の環境美化の向上。	喜入支所総務市民課
2	集落会の活性化	集落会への支援。 (未加入者勧誘) (諸活動)	地域力の向上。 (コミュニティ協議会の 目標達成に貢献)	
3	休耕田の活用	休耕田を花畑に。 (地域住民参加で花の 植栽)	協働意識の高揚。 (花で地域が明るくなる)	農地保全会
4	灯籠まつり	P T Aと合同夏まつり。 (子ども会等の灯籠と 集落会廻り灯籠展示)	住民の親睦と文化継承。 (P T Aと各集落会の連 帯意識が高まる)	小学校P T A
5	十五夜	共同作業で綱を作り、 その綱でレクリエーシ ョンを実施。	子どもと大人のふれあいを 深め生活の知恵を学び 愛郷心を育む。	社会体育部会
6	棒踊り保存会	各集落会保存会と連携 し、保存・継承の検 討。	郷土芸能の保存・継承で 地域づくりへ大きく反 映。	集落会棒踊り保存 会
7	公民館まつり	舞台発表。 作品発表。 農産物展示。	地域住民のふれあい交流。 文化活動の発表の場。 農産物生産の向上。	社会教育部会
8	年賀式	新年を祝う式典。	協働による地域活動推 進。	
9	先進地研修	先進的な地域の事業や 運営方法を学ぶ。	地域づくりへの意欲高 揚。	校区社会福祉協議 会

(2) 安心安全部会

番号	事業名	事業内容	事業効果	備考(連携等)
1	関係団体・機関の 情報交換	安心安全ネットワー ク会議構成団体、警察及 び行政等の情報交換。	地域の防火防災防犯に関 する課題の共有及び具 体的取組の明確化。	鹿児島南警察署 喜入支所総務市 民課

2	防犯パトロール	空き家、廃家、公園、暗所等の夜間巡視。 (夏季・冬季)	非行・犯罪の未然防止と防火への寄与及び地域住民の意識の高揚。	鹿児島南警察署
3	登下校の見守り	青パト隊の通常巡回指導と小中PTA・交通安全協会合同による指導。	児童生徒の登下校時の交通安全確保や不審者による被害防止。	小中PTA
4	地域内危険箇所点検	安心安全ネットワーク会議、自主防災会、行政及び関係団体合同による危険箇所の抽出と対策。	危険箇所の事前排除と地域住民の自助活動による迅速な改善の推進。	喜入支所総務市民課 喜入建設事務所 喜入農林事務所 中名消防分団 中名小学校
5	緊急救命講座	救急救命(応急手当、蘇生)の基本的な処置法の体験講座。	災害発生時における被災者や病人の迅速な救助活動。	市南消防署喜入分遣隊
6	防災訓練	不測の災害に備え防火防災及び避難方法の習得。	災害に対する地域住民の意識高揚と「共助」の精神の向上。	市南消防署喜入分遣隊

(3) 福祉部会

番号	事業名	事業内容	事業効果	備考(連携等)
1	となり組見守りネットワーク	高齢者や障がい者への声かけや安否確認の見守り活動。	高齢者の仲間づくりや安心安全な生活の確保。	校区社会福祉協議会
2	お達者クラブ	高齢者が仲間と共に学習や健康、レクリエーション、会食などでふれあいを深める。	高齢者の交流で、一人暮らしの孤独感の解消。	校区社会福祉協議会
3	子育てサロン	未就学児とその保護者を対象に、親子遊びや読みなどの活動。	親子遊びや読み聞かせにより、親子の絆が深まる。	校区社会福祉協議会
4	敬老祝賀会	75歳以上の高齢者を招待し、地域住民みんなでお祝いする。	高齢者の長寿を地域全体で祝福できるとともに、子ども達や地域住民との交流の場。	校区社会福祉協議会
5	ふれあいサロン	旧校長住宅を市から無償借用し中名駅前の「ふれあいサロン」として活用。	活用範囲が広がり、お互いの交流が深まる。	喜入支所総務市民課

(4) 青少年育成部会

番号	事業名	事業内容	事業効果	備考(連携等)
1	ふるさと美化活動	校区一斉清掃への参加。(夏季・冬季)	美化活動の意識が育まれる。	まちづくり部会
2	歩こう会	地域住民と共に校区ウォーキングコースを歩く。	校区の素晴らしさを再発見しお互いの交流が図られる。	
3	青少年健全育成大会 (あいご会発表)	子ども会活動の事例発表。	子ども会活動を地域住民が知ることが出来る。	校区あいご会
4	青少年健全育成大会 (立志式)	中学2年生を主体とした式典を実施。	自分の将来の夢や希望を確認し自覚をもって行動できる。	
5	あいさつ運動	のぼり旗・横断幕を設置し、あいさつ運動を推進。	お互いが声をかけることで、気軽に声かけが出来る環境となる。	

(5) 社会教育部会

番号	事業名	事業内容	事業効果	備考(連携等)
1	成人学級	地域課題を学び合う学習の企画実施。	学習する中で教養が得られ、地域づくりに反映される。	喜入公民館
2	文化講演会	生涯学習の一環として開催し、地域住民の教養、文化意識を高める。	地域づくりへの意識の変化、協力心の向上が図られる。	
3	喜入公民館との連携	学びの指導助言を受けながら、講座等の参加促進を図る。	「つどい学ぶ」喜びが実感でき、生涯学習の推進力が高まる。	喜入公民館
4	公民館まつり (作品展示)	日頃の学習の成果を展示、発表する。	発表の場を提供することで、学習意欲が向上し、活動が活発化する。	
5	社会教育関係団体の育成	地域づくりの推進役として、会員確保、活動内容の活性化を図る。	組織が充実すれば地域づくりの推進力が高まる。	

(6) 社会体育部会

番号	事業名	事業内容	事業効果	備考(連携等)
1	校区グラウンドゴルフ大会	3集落参加者によるふれあい競技。	年齢に関係なく運動の楽しさや健康づくりを話す場となり元気なまちづくりが進む。	
2	校区運動会	住民総参加による小学校との合同運動会。	世代間の交流ができ集落への愛着が深まる。	
3	親子ラジオ体操	夏休み期間中に3回NHKラジオ体操を実施。	親子や地域住民のふれあいの場となり、楽しく健康づくりができ、連帯意識が高まる。	
4	体力テスト	成人や高齢者を対象とした体力診断テストと健康チェックの実施。	自分の体力や運動能力を知り、その結果に基づき生活改善や運動への取り組みにつながる。	
5	喜入地域体育大会	選考者による事前練習や大会当日の勝利を目指し競技の応援を行う。	地域住民の健康づくりに寄与するとともに世代間交流ができ、地域住民の一体感が生まれる。	
6	喜入地域グラウンドゴルフ大会	喜入地域住民参加によるふれあい競技。	地域住民の健康づくりに寄与するとともに世代間交流ができ、地域住民の一体感が生まれる。	

8 資料

(1) 地域コミュニティプラン策定の経過

令和4年度

- 8月12日(月) ・ 第3期コミュ協プランの構想事務協議
- 10月 3日(月) ・ 第3期コミュ協プランの構想及び策定スケジュール決定
- 12月 5日(月) ・ 第2期コミュ協プランの反省・まとめ(中間報告)
- 1月30日(月) ・ 第2期コミュ協プランの反省・まとめ(決定)

令和5年度

- 5月15日(月) ・ 第1回コミュ協プラン策定委員会
(プラン策定要領、策定委員会日程等の決定)
- 安心安全部会 (現状と課題の検討)
- 16日(火) ・ 社会教育部会 (現状と課題の検討)
- 19日(金) ・ まちづくり部会 (現状と課題の検討)
- 24日(水) ・ 福祉部会 (現状と課題の検討)
- 6月 3日(土) ・ 社会体育部会 (現状と課題の検討)
- 16日(金) ・ 青少年育成部会 (現状と課題の検討)
- 8月 2日(水) ・ 市喜入支所総務市民課との打合せ
- 21日(月) ・ 第2回コミュ協プラン策定委員会
(プラン策定・スローガンと基本方針・中名地域の概要
組織体系図・各部会の現状・事業計画・活動体系図提案)
- 9月20日(水) ・ 市喜入支所総務市民課との打合せ
- 10月16日(月) ・ 第3回コミュ協プラン策定委員会
(プラン策定・スローガンと基本方針・中名地域の概要
組織体系図・各部会の現状・事業計画・活動体系図決定)
- 11月15日(水) ・ 市喜入支所総務市民課との打合せ
- 12月18日(月) ・ 第4回コミュ協プラン策定委員会
(表紙・写真関係の一部承認 ・ 印刷会社決定)

令和6年

- 1月17日(水) ・ 市喜入支所総務市民課との打合せ
- 29日(水) ・ コミュ協3期プランを印刷会社へ入稿
- 2月19日(月) ・ 第5回コミュ協プラン策定委員会
(3期プランの印刷会社入稿後の修正箇所確認)
- 3月 4日(月) ・ 第6回コミュ協プラン策定委員会
(コミュ協3期プランの校正)
- 18日(月) ・ 第3期中名地域コミュニティプラン完成

(2) 第3期プラン策定委員会委員名

番号	職	氏名	コミュ協役職
1	委員長	福里 廣	コミュニティ協議会長
2	副委員長	前原 博明	” 副会長・青少年育成部会長
3	委員	玉泉 真二郎	まちづくり部会長
4	”	中道 博哉	” 副部会長
5	”	樋高 浩一	安心安全部会長
6	”	木谷 常司	” 副部会長
7	”	竹迫 早苗	福祉部会長
8	”	釜付 卓子	” 副部会長
9	”	白石 秀夫	青少年育成部会副部会長
10	”	玉泉 徹	社会教育部会長
11	”	永野 健二郎	” 副部会長
12	”	尾曲 千利	社会体育部会長
13	”	北 浩次郎	” 副部会長
14	”	玉泉 眞二	学識経験者
15	庶務	福永 敏子	事務局職員

中名地域コミュニティプラン

令和6年3月発行

中名地域コミュニティ協議会

〒891-0202

鹿児島市喜入中名町1122

TEL/ FAX 099-345-2153

E-mail naka-kouminkan@lily.ocn.ne.jp